

地域医療支援病院業務報告要旨

I 概要

病院名	フリガナ	シャカイリョウホウジン カキタイリョウサダン カキタソコウヒョウイン
		社会医療法人 河北医療財団 河北総合病院
所在地		東京都杉並区阿佐谷北1-7-3
管理者氏名		鎌田 孝一
承認年月日		平成18年5月9日
業務報告書提出日		令和6年10月3日

II 業務報告

対象期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
------	--------------------

1 紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

承認要件	イ 紹介率65%以上、かつ逆紹介率40%以上	
紹介率	①／（②－（③＋④＋⑤））	76.6 %
※患者数は延べ人数	①紹介患者数	11,249 人
	②初診患者数	24,062 人
	③地方公共団体又は医療機関に所属する救急自動車により搬入された患者の数（初診に限る）	4,426 人
	④休日又は夜間に受診した救急患者の数（初診に限る）	4,954 人
	⑤健康診断を目的とする受診により、治療の必要性を認めて治療を開始した患者の数（初診に限る）	0 人
逆紹介率	⑦／②－（③＋④＋⑤）	74.8 %
※患者数は延べ人数	⑦逆紹介患者数	10,983 人

2 共同利用の実績

共同診療件数	0 件
高額医療機器共同利用件数	1,085 件
共同利用病床数	10 床
共同利用病床利用率	0.0 %
共同利用施設・設備	病床、高額医療機器、図書室、シミュレーションセンター
登録医療機関数	406

3 救急医療の提供の実績 【（１）又は（２）のどちらかを選択すること】

（１）救急患者数

救急搬送による救急患者数	()
救急搬送以外の救急患者数	()
合計（うち初診患者数）	()

※括弧内は、初診救急患者数

（２）救急医療圏（２次医療圏）人口における救急搬送患者数割合

A:救急用又は患者輸送用自動車により搬入した救急患者の数	8,539 人
B:救急医療圏（２次医療圏）人口※	1,285,373 人
C:A/B×1000＞2	6.6 (少数点第1位まで記入)

※２次医療圏人口に関しては総務省統計局により実施された直近の国勢調査の人口（該当２次医療圏における区市町村人口の総和）を用いること。

（３）救急用又は患者輸送用自動車所持台数

救急用又は患者輸送用自動車	1 台
---------------	-----

4 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績

研修の内容	地域医療機関の医師をはじめとする医療従事者を対象に『杉並医療連携セミナー』と称する勉強会を月１回のペースで開催。 その他、院内で開催するカンファランス、C P C等への参加可能としている。		
地域の医療従事者への実施回数			21 回
合計研修者数	※院外からの延べ参加人数		509 人
研修体制	研修プログラムの有無	(有)	・ 無
	研修委員会の設置の有無	(有)	・ 無
	研修指導者数		22 人
研修施設			3

5 診療並びに病院の管理運営に関する諸記録の体系的な管理方法

管理責任者	総合病院院長	
管理担当者	総合病院事務部長	
診療に関する諸記録の保管場所	診療情報管理課及び各科外来	
病院の管理及び運営に関する諸記録の保管場所	共同利用の実績	地域医療連携課
	救急医療の提供の実績	経営企画課
	地域医療従事者向け研修の実績	地域医療連携課
	閲覧実績	地域医療連携課
	紹介患者に対する関係帳簿	地域医療連携課

6 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

閲覧責任者	地域医療推進部 部長		
閲覧担当者	地域医療連携課 課長		
閲覧に応じる場所	地域医療連携課		
前年度の総閲覧件数			0 件
閲覧者別延べ件数	当該病院に患者を紹介しようとする	医師	0 件
		歯科医師	0 件
	地方公共団体		0 件
	その他		0 件

7 委員会の開催実績

委員会の開催回数	4 回
委員会の概要	【地域医療支援病院運営協議会】 第44回 開催日：2023年5月29日 場所：河北総合病院西館講堂 参加者：院外委員9名中6名参加 院内委員6名中6名参加 - 開会挨拶 - 総合病院院長挨拶、委嘱状交付 - 事務局報告事項 - 地域医療支援病院としての現在の状況（事務局より） 地域医療支援病院 紹介率・逆紹介率／E R 救急医療センター受診者数 科別紹介件数 - コロナ感染症の実績と今後について - 今後の地域連携・地域包括ケアの在り方・構想について - 協議事項 - 地域医療支援病院の役割を果たすために今後必要なことは何か。 - その他 第45回 開催日：2023年9月22日 場所：河北総合病院西館講堂 参加者：院外委員9名中9名参加 院内委員6名中6名参加 - 開会挨拶 - 総合病院院長挨拶 - 事務局報告事項 - 地域医療支援病院としての現在の状況（事務局より） 地域医療支援病院 紹介率・逆紹介率／E R 救急医療センター受診者数 科別紹介件数 - 医師直通電話（ホットライン）開設について - 新病院建設状況 - 看護部の取組み報告 - 看護専門実践研修開講 - 高齢者施設向け勉強会開催報告 - 当院口腔ケアの取組みと杉並区歯科医師会との連携 2023年度病診連携会開催予定について - 協議事項 - 地域医療支援病院の役割を果たすために今後必要なことは何か。 - その他 第46回 資料発送 発送日：2023年12月26日 発送資料 - 報告事項 - 紹介率・逆紹介率/E R 受診者数（救急搬送・直来）/紹介件数推移 /月平均紹介件数推移 - 医療連携広報誌 SIGMA 2023年12月号（アブレーション治療について/FFR-CTについて/腎臓内科 の ご紹介/病診連携会の開催報告） 第47回 開催日：2024年3月27日 場所：河北総合病院西館講堂 参加者：院外委員9名中8名参加 院内委員6名中6名参加 - 開会挨拶 - 総合病院院長挨拶 - 事務局報告事項 - 地域医療支援病院としての現在の状況（事務局より） - 紹介率・逆紹介率/E R 救急医療センター受診者数/救急隊来院実績/科別紹介件数 - 医療機能評価受審結果中間報告 - 新病院建設状況 - 杉並区歯科医師会による勉強会開催報告

8 患者相談の実績

相談を行う場所	相談窓口・相談室
主たる相談対応者	看護師、社会福祉士、司書、事務職
相談件数	・社会福祉相談（経済課題、心理社会的課題、受診・受療課題、社会復帰課題、権利擁護課題、制度活用など） 2658件 ・退院相談 17071件 ・苦情相談（医療事故・クレーム） 4件 ・看護相談（退院後のケア等） 142件 ・がん相談 12件 ・その他医療相談 456件
相談の概要	■相談内容 在宅医療・介護相談、転院・入所相談、受診・入院相談、経済課題相談、家族関係課題相談、 身寄り・後見課題相談、虐待課題相談、社会福祉制度活用の相談、病状・障害理解に関する相談、医師や多職種との関係・仲介に関する相談、復職など社会復帰に関する相談、緩和ケアやがんに関する相談、生活全般（食事、運動等）、精神面のケア、苦情相談、その他医療相談について ■対策 面談や多職種からの情報収集による適切なニーズの把握、ニーズに応じ院内多職種や、医療・福祉関係機関との連携・調整をはかり、また、様々な社会福祉制度、サービス、医療・福祉関係機関などを紹介・活用支援しながら、課題解決を支援した。 情報提供ツールとして、文献・パンフレット等の整備。 関係医療・介護機関、行政機関等と連携の機会を強化し、包括的相談体制提供を強化。 他職種紹介・連携（医師・看護師・薬剤師・リハビリテーション科・栄養士・MSW・医事課・カスタマーサービス） 研修会、教育体制整備による相談支援力の強化 患者相談窓口カンファレンスの推進、相談員の増加

9 地域医療支援病院に求められるその他の取組 (任意)

(1) 病院の機能に関する第三者による評価

病院の機能に関する第三者による評価の有無	(有) ・ 無
評価を行った機関名、評価を受けた時期	日本医療機能評価機構認定 (一般病院2) 2023年11月更新

注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

(2) 果たしている役割に関する情報発信

果たしている役割に関する情報発信の有無	(有) ・ 無
情報発信の方法、内容等の概要	around杉並健康ライフ2023、阿佐谷地域区民センターで開催。

(3) 退院調整部門

退院調整部門の有無	(有) ・ 無
退院調整部門の有無概要	社会福祉士11名、看護師4名、事務1名在籍。多職種協働の入退院支援の統括部門として、入院前支援の実施、入退院支援の運用管理・体制整備、院内多職種への啓蒙・教育活動、ベッドコントロール、関係機関との連携強化活動(面会活動、連携会の開催、多機関・地域住民への啓蒙活動等)、患者さんの社会的課題の直接的解決支援(意思決定支援、転院等退院先決定・調整支援、経済課題・家族関係課題・後見課題・虐待課題等の解決支援、社会福祉制度活用支援、社会復帰支援等)を担う。

(4) 地域連携を促進するための取組

地域連携クリティカルパスの策定	(有) ・ 無
策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容 地域連携クリティカルパスを普及させるための取組	- 策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容 慢性腎不全地域連携パス - 地域連携クリティカルパスを普及させるための取組 セミナー開催時に地域連携パスの概要を説明

病院名 河北総合病院